

氏名	宮 本 宣 義
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Talonavicular Joint Abnormalities and Walking Ability of Patients with Rheumatoid Arthritis (関節リウマチにおける距舟関節障害度と移動能力の関連について)
論文審査委員	教授 金澤 右 教授 大塚 愛二 教授 榎野 博史

学位論文内容の要旨

関節リウマチにおける後足部変形の頻度は高く、距舟関節に由来することが多い。この度距舟関節のMRI所見と移動能力について比較検討した。関節リウマチ患者35例66足を対象とした。男性5例10足、女性30例56足であり、年齢は34歳から87歳（平均70歳）で罹病期間は1年から54年（平均14年）であった。距舟関節のMRI所見を5段階に分類した。Grade1：軽度の異常、Grade2：初期の関節破壊、Grade3：中等度の関節破壊、Grade4：高度の関節破壊、Grade5：骨、強直あるいは脱臼とした。なお移動能力の分類としては藤林の分類、Class2～Class4dまでの9段階の分類を用いた。MRI分類と藤林の分類は、Spearmanの順位相関にて $P=0.003$ と相関関係を認め、距舟関節のMRI所見が悪化するに従って移動能力の低下が認められた。

論文審査結果の要旨

本研究は、慢性関節リュウマチ患者の距舟関節のMRI所見と歩行障害に相関性があることを明らかにしたものであるが、従来報告のなかったMRI所見をまとめ、また、単純写真で不明であった画像と歩行障害の関係を示しており、価値のある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。